

ラビット通信

発行元 / 東住吉区役所 区民企画課 地域安全・防犯・防災 なでしこラビット隊 2015年1月発行
〒 546-8501 東住吉区東田辺 1-13-4 TEL 06-4399-9990 FAX 06-6629-4564

- ★ 田辺大根の収穫 ～クラインガルテン広場～ (1面)
- ★ 区役所キャンペーンお知らせ・ラビット防災通信 (2面)

田辺大根の収穫 ～クラインガルテン広場～

1月13日(火)・14日(水)、東住吉区クラインガルテン広場にて今川幼稚園・天宗東住吉園の園児たちによる田辺大根の収穫を行いました。

右の写真の田辺大根は、なにわ伝統野菜の基準を満たす野菜の1つで、東住吉区の地名の付いたブランド野菜です。



収穫した田辺大根

今回、ラビット隊としては、クラインガルテン広場までの移動時の安全確保と、収穫のお手伝いをしましたが、各園とも30分ほどの時間をかけて、歩いてクラインガルテン広場の方に来ていただきました。

クラインガルテン広場に到着し、玉葱や白菜の様子を見学。そのあとクラインガルテンスタッフの方に収穫の方法を教えてもらい、一斉に収穫がスタート。大きさや形も様々で、たくさん収穫することができ、園児たちはとても楽しんでいました。

大根がたくさんできていたこともあり、幼稚園・保育園の先生たち・ラビット隊も収穫体験をさせていただきましたが、大きさに関わらず驚くほど簡単に抜くことができました。収穫した大根は園児たちに1本ずつ、各園の方にも数本ずつ持って帰っていただきました。

今回は、田辺大根ということで収穫体験を行いました。クラインガルテンスタッフの方によると、5月頃には玉ねぎやジャガイモの収穫を予定しているとの事なので、次の収穫体験を行うことが決まりましたら、各施設の方にラビット隊よりご案内させていただきます。



説明を聞いて・・・



収穫！！



記念撮影♪

ラビット防災通信 ⑦震災から20年をむかえて

「阪神・淡路大震災（1995年1月17日 早朝）」から今年で20年をむかえました。

この大地震をきっかけとして、私たちの意識の中に地震への恐怖感が生まれ、身近に感じるものとなり、同時に防災への関心が深まりました。

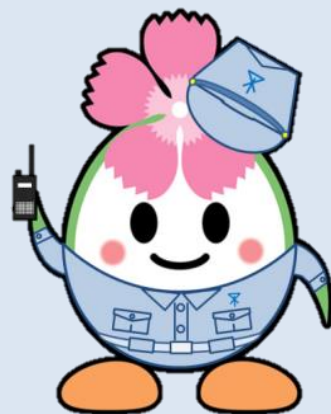
日本列島には4つのプレートがひしめき合い、多くの活断層が存在するため、常に地震の危険と隣り合わせの状態にあり、大地震がいつか必ず起こるものと考えられています。

また、地震のみならず風水害や土砂災害などの自然災害も、常に起こり続けています。

大震災から20年の節目となる今こそ、地震や自然災害に対する防災意識を高め、自ら考えなければなりません。

そこで、自分の命を守るための“心構え10カ条”を考えました。災害時に落ち着いて行動できるように覚えておいてください。

- ① まずは自分の命を守る行動をしよう
(身の安全の確保を、そして家族の安否確認)
- ② 落下防止策や飛散防止をしよう
(家具などの倒壊防止とガラスへのフィルムなど)
- ③ 避難経路が確保できる家具の配置をしよう
(扉の付近に物を置かないなど)
- ④ 通電火災防止のためブレーカーはOFFにしよう
(停電時もOFFにしよう)
- ⑤ 水道の蛇口は必ず閉めるようにしよう
- ⑥ 非常持ち出し袋を準備してすぐ取り出せるようにしよう
(枕元やすぐに持てる場所に置くようにしよう)
- ⑦ 一定期間過ごせるだけの水や食糧を備蓄しよう
(一週間分は蓄えておこう)
- ⑧ 家族で安否確認の取り方を決めておこう
(災害時伝言ダイヤルなどの確認)
- ⑨ 避難場所や避難経路の確認をしよう
(会館や学校、高台の場所など決めておこう)
- ⑩ 防災力強化のため積極的に防災訓練へ参加しよう
(町会や地域の防災訓練を見に行くだけでもいいので参加しよう)



地震や自然災害は忘れたころにやってきます。20年前の“阪神・淡路大震災”を経験した人も、経験していない人も“その時”に慌てることのないよう備えと意識をもち、防災力向上に努めましょう。